

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：福知山市

プロジェクト名	人・自然共生ふくちやま 自立・元気の創造		実施期間	平成23年度～平成27年度	テーマ	農山村活性化	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>農山村地域では、主要産業である農林業が地域を支えてきたが、中山間地以外の平地も含めて、過疎・高齢化の進行や産業構造の変化等による農林業後継者の減少や有害鳥獣による農産物被害の増加などが起因して、農地・森林の荒廃が進んでおり、農林業の担い手対策および定住化対策が地域の活性化を図る上で、重要な課題となっている。</p> <p>特に、地理的条件が厳しい山間地域に位置し、集落の人口が概ね50人未満で、65歳以上人口の占める割合が50%を超える高齢化が進行した集落については、共同作業である草刈りや河川の掃除等の公益施設の維持管理や地域独自の伝統・文化等の継承も困難になっている状況である。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>農山村地域の現状と課題を整理し、農山村集落の維持や、安心して生活できる農山村地域づくりに向けた基本的な方針を基本計画としてとりまとめ、次の視点にたった農山村活性化対策事業の一つの計画として取りまとめて実施する。</p> <p>① 農山村地域に居住している市民の安心・安全な暮らしの維持 ② 現在の居住者が離村されない、帰郷者や外部からの転入者を受け入れられるような地域環境づくり（人と人の絆づくり） ③ 地域資源等を活用した地域振興</p> <p>特に、小規模・高齢化が進行している集落については、新たな地域運営の仕組みをつくりあげていくことを目標とする。</p>							
	総事業費（千円）	359,000	本年度事業費（千円）	80,777	交付金額（千円）	34,180		
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	有害鳥獣捕獲事業（市単独事業）	交付事業	有害鳥獣駆除に関する経費			有害鳥獣被害額 38,232千円（平成27年度）		
	エンジョイプログラム 二瀬川散策コース整備事業	交付事業	二瀬川渓流架橋に要する経費			酒呑童子の里入込客数19,289人（H27年度）		
	ふくちの農場づくり事業	交付事業	京丹農産プランを作成した地域の営農組織への補助			農業機械の導入台数10台（H27年度）		
	学校給食地産地消事業	交付事業	学校給食への地産農作物導入支援補助、			福知山産コシヒカリの週あたりの米飯給食4回（H27年度）		
住民協働事業	里の駅みたけ産見守り弁当宅配事業 (6次産業モデル生産・加工・販路事業)	交付事業	三岳地域のグループが「里の駅みたけ」を利用して行う、地産地消の弁当づくりと見守りを目的とした宅配弁当事業への			見守り弁当出荷個数 12,626個（H27年度）		
	ふくち丹州材活用・山林保全事業		福知山産木材を用いた家の建築への補助及び、木材の育成のための間伐等林業振興への補助			丹州材の出荷量6,000m ³ （H27年度）		
	ふくちの農山村応援事業	交付事業	過疎・高齢化した集落において、地域住民によって実施する活性化策及び集落の活動事業への補助			自主取組の活動集落数 21地区（H26年度）		
成果指標①	成果指標の目標数値	丹州材の出荷量 8,000m ³ （平成27年度）		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)		丹州材の出荷量 6,000m ³ （平成27年度）		
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	平成26年8月豪雨災害により森林が被災し、継続して災害復旧作業が行われ、予定していた搬出が不可能になったため。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)				(時期)	
成果指標②	成果指標の目標数値	有害鳥獣被害額 36,000千円（平成27年度）		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)		有害鳥獣被害額 38,232千円（平成27年度）		
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	有害鳥獣の捕獲・駆除に鋭意取り組んでおり、実績値が概ね目標値に近い。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)				(時期)	
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	<p>担い手の高齢化や、近年の自然災害や異常気象により農林業をとりまく環境は年々悪化している。その中で本年度の実績は成果指標の下振れを緩和している。今後も継続してハード・ソフトの両面で環境悪化に対応しつつ、魅力ある農山村づくりに努め、人口流出の防止・移住者の獲得・都市農村間交流の促進を図る。</p>							
※未達成の場合も効果を記載すること	<p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応策についても記載すること。</p>							

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：福知山市

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	農山村の活性化・都市農村の交流については多角的に取り組む必要があり、基盤整備や誘客施設の改修などのハード整備などの関連事業と相乗効果を十分に発現できた。
	府と市町村等との連携に資する成果	農村の人口減少対策・活性化は府が抱える課題の一つである。例えば、鳥獣害対策については、各市単独の対策では限界があり、広域的な視野で対策を立てなければ解決はできない。広域的な課題に対し、市町村では為しえない市町村の枠を超えた調整を府が行い、市と連携して農村の活性化していくことは今後も重要である。福知山市においては周囲を自然に囲まれているため、周辺市（他県を含む）との連携は必要不可欠であり、京都ブランド化、都市部と農村の交流など他府県との連携は府の役割として非常に大きいものがある。京都府北部地域の人口対策として府の連携は欠かせない。
	住民の自治意識を高める成果	少子高齢化が進み、過疎地域におけるコミュニティが崩れつつある中、農山村におけるイベント開催および農林業の活性化はコミュニティの強化・維持につながる。そのため、住民の地域に対する意識を高める効果は高いと考えられる。
	リーディング・モデル成果	過疎・高齢化が進行している農山村において、生活の基盤である農林業の維持・活性化はどの自治体にとっても喫緊の課題である。農林業生産における障害を緩和しつつ新たな市場を模索する本市の取組は、未だ道半ばであるが、今後他市が参考にする可能性が高いと考えられる。
	広域的波及成果	関連事業の毛原の棚田農業体験推進事業などは、都会から参加者を呼び寄せることに成功している。そのため広域的波及効果は高い。
	行財政改革に資する成果	現在、全国的に「ブランド作り」が各市町村の重要なテーマとなっている。そのためには、初期投資が必要不可欠である。そういった初期投資という意味合いでは、適切な費用対効果があると考えられる。
	その他の成果	特記事項なし。

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：福知山市

プロジェクト名	城下町福知山 魅力と活力の創造プロジェクト	実施期間	平成23年度～ 平成27年度	テーマ	中心市街地活性化	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>・平成24年4月にオープンしたゆらのガーデンを中心に、集客等について一定の成果を上げることができた。しかしながらその来場者を、他の市内の観光地や施設へ誘導されていない現状があり、そのことが地元商店街等の活性化に繋がっていない現状がある。</p> <p>・地元商店街関係者からは人を呼び込む策を望む声が多く聞かれ、イベントやソフト事業をしっかりと組み合わせることで、ゆらのガーデンの来場者を、中心市街地の活性化に結び付けていく必要がある。お城、ゆらのガーデンから商店街そして駅北交流拠点へと結びつける歴史散策ルート、うまいもんルートを設定するなど、中心市街地へ人の流れを作る課題がある。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>海の京都事業の戦略拠点として、福知山城を中心とした中心市街地の魅力を高めるため、お城周辺の賑わいを創出する核となる「ゆらのガーデン」等でのハード面の整備等を行ってきた。</p> <p>今年度も、お城から城下町へを合言葉に、ソフト面にも一層力を入れる。地域の魅力を充実させることに力を注ぎ、人の流れを生み出す事業展開を行う。</p> <p>①お城周辺、城下町を作り出す事業 ゆらのガーデン中心にハード整備事業を行ってきたが、観光客を福知山城から城下町（広小路商店街）へと誘導する事業を展開する。具体的には商工会の概観改修や広小路商店街に並ぶ町並のレトロな整備を行い、また、空き店舗活用チャレンジ事業等による新規開店に対する援助、店先に「藍のれん」を飾るなど、城下町の魅力を一層高める事業を実施して、散策を楽しめるようにする。さらに、新町商店街に鉄道の町ふくちやまの代表的な施設である、福知山鉄道館ポッポランドの運営にも力を入れる。</p> <p>②地域資源を活性化する事業 「お城まつり」「スイーツフェスティバル」「ドッコイセまつり」など、地域の個性を活かした中心市街地の賑わいを創出するイベントを支援するとともに、「福知山マラソン」の参加者に地元銘菓を提供しスイーツ観光に繋げるなど、スポーツイベント参加者に対する市内観光への誘導を行い、中心市街地への観光誘客の拡大を図る。</p> <p>これらの事業を展開することにより、ゆらのガーデンやお城周辺から商店街そして福知山駅周辺へと人の流れ、中心市街地の賑わいを作り出すことを目的とする。</p>						
	総事業費（千円）	6,300,000	本年度事業費（千円）	29,636	交付金額（千円）	15,803	

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：福知山市

プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績(出来高数値等)					
事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）	
市町村 実施事業	福知山パーキング修繕事業	交付事業	利用者の安心安全のために、駐車場区画ライン及び鉄骨部の再塗装を行う経費	パーキング利用台数42,760台（H27年度）	
	ゆらの・ガーデニングサークル発展事業	交付事業	ゆらの・ガーデンを、市民が参加してガーデニングを楽んで学ぶ場とすることにより、継続的な庭の維持・管理を行う活動	ガーデニングサークル活動回数 14回（H27年度）	
住民 協働 事業	中心市街地活性化基本計画推進事業	交付事業	福知山まちづくり(株)への中心市街地活性化基本計画を推進するための事業費（委託料）	中心市街地の歩行者・自転車通行量（平日休日の平均） 3,532人（H27年度）	
	空き店舗活用チャレンジ事業	交付事業	空き店舗等を活用した事業展開を行う、商工会議所・商店街の改修経費等への補助	新規出店件数 2件（H26年度）	
	丹波福知山まちかどラボ運営事業	交付事業	中心市街地の賑わいづくりのため、地域活動や市民活動、文化活動等の拠点や情報発信をする施設の運営経費	まちかどラボ利用人数 1,660人/年（H27年度） 活動例：クレイフラワー教室、寄せ植え講習会、広小路マルシェ等	
	福知山鉄道館ポッポランド運営事業	交付事業	福知山の鉄道の魅力を発信するとともに、商店街の誘客や賑わいづくりのための施設運営費への補助	入館者数：16,657人（H27年度）	
	まちづくり会社活動支援事業	交付事業	中心市街地活性化基本計画に基づく、事業実施のための団体への運営補助	中心市街地の歩行者・自転車通行量（平日休日の平均） 3,532人（H27年度）	
	福知山「藍のれん」プロジェクト事業	交付事業	城下町福知山の趣を感じられるよう、軒先への藍染のれん掲出事業への補助	のれん掲出数（累計） 129件（H27年度）	
	ドッコイセまつり推進事業	交付事業	中心市街地への誘客を図るため、夏に開催されるドッコイセまつりのイベントへの運営補助	ドッコイセまつり入込客数 4,600人（H27年度）	
	福知山お城まつり支援事業	交付事業	多数の市外の方が中心市街地を利用する、福知山の春を代表するイベントへの補助	入込客数：10,000人（H27年度）	
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	中心市街地に立地する観光・文化施設（7館）の入館者数 78,000人（H27年度）		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	中心市街地に立地する観光・文化施設（7館）の入館者数 85,673人（H27年度）
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	達成	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果 指標 ②	成果指標の目標数値	商店街・商工会等によるイベント実施件数 17件（H27年度）		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	商店街・商工会等によるイベント実施件数 12件（H27年度）
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	市以外の団体からの補助が充実しつつあるため、市補助によるイベント実施件数は昨年度より減少している。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	各成果指標の目標数値は長期計画（H27年度）の数値をあげており、達成した項目もあり今年度としては適正な数値であると思われる。				
	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。				
関連事業との連携効果	関連事業と各種イベント等が組み合わせることにより、観光客数の増加が見込まれた。				
	府と市町村等との連携に資する成果	今後京都府を活性化させるためには、市町村単独の枠を超え、広い範囲の市町村が連携していく必要があると考える。とりわけ福知山市においては、府の協力の下「府下唯一の中心市街地活性化認定市」として国より認定を受けている。こうした市を核にして、京都府の支援・調整の下、中丹全域の市町村及び他都道府県市町村とが連携できれば、今後も広域的な地域活性化が可能である。そうした成功例を作ることにより、府下で同様に中心市街地衰退の苦慮する他市町村に有効な施策を講じることができるので連携成果は大きいと考えられる。			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：福知山市

本プロジェクトに対する自己評価	住民の自治意識を高める成果	イベントそのものが住民に溶け込んでおり、地域住民にとってもかかせないものとなっている。こうした既存のイベントを長年続けていくことにより住民間の自治意識が、より高まっていくという成果があると考えられる。
	リーディング・モデル成果	福知山マラソン大会は、知名度が高く、参加者数も多い。そのために、その北部を盛り上げるイベントとして大きな成果があったといえる。また、様々な地域に根ざしたイベント等の取組を行うことで地元を中心市街地活性化への意欲は高まっている。「府下唯一の中心市街地活性化認定市」として今後も事業を進めていくことで、他市に対しても先駆的な存在となっており、府下で同様に中心市街地衰退の苦慮する他市町村に有効な施策を講じることができると考えられる。
	広域的波及成果	特になし。
	行財政改革に資する成果	福知山市のブランドを確立するためには、過去からの事業を今後も続けていくことは大きな成果があると考えられる。
	その他の成果	特記事項なし。

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：福知山市

プロジェクト名	環境保全先進都市の創造		実施期間	平成23年度～ 平成27年度	テーマ	環境・エネルギー	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>地球規模で環境問題が取り上げられる中、本市においても、ごみの減量をはじめとする環境3R〔リデュース（発生抑制）・リユース（再使用）・リサイクル（再資源化）〕や温室効果ガスの削減等総合的な対策が求められている。</p> <p>また、生態系の把握には広域的な視点が不可欠であり、生物多様性に配慮した人と自然が共存・共生できる社会の構築が求められている。</p> <p>このため、資源の有効な活用により、低炭素型・循環型社会への転換が必要となっている。</p> <p>また、環境との共生が今日的課題として取り上げられる中、持続可能な低炭素・循環型社会への転換が求められている。本市におけるごみ排出量は、プラスチック製容器類の分別収集の浸透などにより減少傾向にあるが、不燃ごみは増加傾向にあり最終処分場の使用期間は計画より早まる恐れがある。</p> <p>今後も、ごみの減量・資源化に対する意識変革などによりさらなる発生抑制対策が必要になっている。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>福知山市のすばらしい環境を100年後の子どもたちに引き継ぎ、“持続可能で豊かなまち福知山”を育てていくための環境将来像（ビジョン）や環境施策（プロジェクト）を定め、市民や事業者、市民団体、そして市がパートナーシップを形成しながら環境政策を推進する。</p> <p>また、市の役割として、廃棄物処理を適正に執行し、埋立処分施設等の延命を図る。</p> <p>さらには、太陽光等の再生可能エネルギーに関しては、エネルギー種ごとに本市での導入可能性を研究し、モデル事業を検討する。</p>							
	総事業費（千円）	640,000	本年度事業費（千円）	65,609	交付金額（千円）	18,600		
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	環境基本計画推進事業	交付事業	福知山市環境基本計画に掲げる各種プロジェクトの推進のため、市民が持続可能で取り組みやすい政策提言に関する委託		福知山環境会議プロジェクトへの参加者数 2,308人（H27年度）			
	住宅太陽光発電システム設置事業	交付事業	本市の区域内において住宅用太陽光発電システムを設置する者に設置費用への補助		太陽光発電システム設置家庭数 119件（H27年度）			
	資源ごみ集団回収報奨金	交付事業	各種団体の自主的・積極的な集団回収を促進し、環境意識向上、循環型社会の構築を図る。		資源ごみを年間2,740t回収（H27年度）			
	リサイクルプラザ修繕事業	交付事業	長期整備計画に基づき資源ごみの中間処理を適正に行っていくため施設の改修を行う		リサイクルプラザ不燃ごみ処理設備の改修を実施することにより年間を通して滞りなく資源分別処理を行うことができ			
	ごみ焼却施設周辺地域大気環境調査事業	交付事業	ごみ焼却施設周辺地域大気環境調査に要する経費（窒素酸化物、降下ばいじん等大気汚染物質を年2回、ため池の水質調査等を年1回実施）		公害苦情件数49件/年（H27年度）			
住民協働事業	資源発見・リサイクル体験事業	交付事業	市民団体によるリユースショップ開設や市民を対象としたリサイクル体験教室の開催事業		自転車及び家具の販売台数 110台（H27年度）			
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	福知山環境会議プロジェクトへの参加者数 2,400人（平成27年度）		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	福知山環境会議プロジェクトへの参加者数 2,308人（平成27年度）			
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	実績値がH27年度の目標値に近いため。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)				(時期)		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：福知山市

成果指標 ②	成果指標の目標数値	公害苦情件数 45件（平成27年度）		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	公害苦情件数 49件（平成27年度）	
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	実績値がH27年度の目標値に近いため。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)		(時期)		
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	市民協働により策定した環境基本計画に掲げる活動を実施し、多くの市民の参加を実現できた。また、公害対策等に関する啓発活動や環境測定も行い、本市の環境保全の推進を図ることができた。 ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。					
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	ごみ問題については、各事業と連携していかなければ、成果はあげられない。そのことから大気・水質・騒音等の環境調査や市民協働による環境基本計画推進事業を継続し、成果指標の達成を効果的に継続していく。				
	府と市町村等との連携に資する成果	福知山市においては、環境問題は、ごみのリサイクル利用と太陽光発電などの再生可能エネルギーを中心施策として取り組んでいる。とりわけ、再生可能エネルギーについては、京都府策定の「地球温暖化対策推進計画」でも謳われており、府の施策と直接連携できており成果が出ていると考えている。				
	住民の自治意識を高める成果	環境基本計画推進事業は市民協働で取り組む事業であり、住民意識を高める成果はあったと考えられる。また、資源ごみ集団回収報奨金事業も地域住民が協力してごみ処理に取り組む活動であり、自治意識を高める事業であった。				
	リーディング・モデル成果	福知山市のご当地キャラクターである「ゴーヤ先生」の全国的な活動を利用した福知山市の環境啓発・環境教育等のPR活動は、リーディングモデル成果としては高いものであると考える。				
	広域的波及成果	環境基本計画推進事業において、一定の知名度を持つ「ゴーヤ先生」の幅広い活動により、本市のみどりのカーテン促進事業は全国的なアピールがされており、成果が高いと考えられる。				
	行財政改革に資する成果	環境基本計画推進事業は、市民、事業者、各種団体のボランティアにより進められているものであり、活動経費には人件費が含まれておらず、低コストで効率的な事業が展開できている。				
	その他の成果	特記事項なし。				

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：福知山市

プロジェクト名	暮らしといのちを守るやすらぎのまちの創造		実施期間	平成23年度～平成27年度	テーマ	まちの安心・安全	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>由良川の築堤整備率は、由良川中流部（連続堤区間）で約78.1%、由良川下流部（輪中堤など整備区間）で約42.1%と、いまだに多くの無堤区間が存在しており、連続堤防および、輪中堤、ならびに宅地高上による治水対策が必要となっている。</p> <p>また、火災をはじめとする各種災害や事故への対処や傷病者の救命率を向上させるためにはより高度な消防、救急、救助技能が必要とされ、あらゆる災害に迅速、的確に対応できる人材の育成や体制の強化、消防施設の整備が求められている。</p> <p>さらに、地域防災の要である消防団員の確保が困難となる傾向にあることから、消防団組織や活動の充実と併せ、災害対応の基本となる地域や住民の自助、共助力を高めていく必要がある。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>総合防災センター建設をはじめ、既存消防署、消防救急設備、地元消防団施設等の整備、高度化を図り、災害時の迅速かつ的確な対応体制を推進する。地域においては、自主防災組織や自主防災リーダーの育成を図り、防災訓練、防災研修、災害関連情報の提供を通じて市民の危機管理意識の高揚を図る。また、由良川改修をはじめとした河川整備等により水害対策を推進する。</p>							
	総事業費（千円）	655,200	本年度事業費（千円）	27,970	交付金額（千円）	12,789		
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）			
市町村実施事業	土砂災害ハザードマップ作成事業	交付事業	土砂災害時に市民の避難行動に警戒区域等を表示するマップを全戸配布する経費		各戸配布率100%（H27年度）			
	コミュニティFM放送情報提供防災	交付事業	災害時にコミュニティFMの電波を通して情報発信を行うための経費		災害時利用回数 28回（H27年度）			
	地域の防災拠点強化事業	交付事業	地域の防災拠点の強化のため、地域の集会所整備の支援		補助件数8件（H27年度）			
	浸水救助資機材整備事業	交付事業	浸水時に必要となる備蓄品の増強及び更新		救助用ゴムボート5艇の購入			
住民協働事業	「絆」プロジェクト事業	交付事業	災害時でもコミュニケーションが可能となるよう手話の普及活動		企業への出前講座2回開催、講演会1回開催（H27年度）			
成果指標①	成果指標の目標数値	自主防災組織の組織率 70%（平成27年度）		成果指標の実績値 （28年3月31日時点）	自主防災組織の組織率 74%（平成27年度）			
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	達成				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）			
成果指標②	成果指標の目標数値	自主防災リーダー養成講座受講者数 2,300人（平成27年度）		成果指標の実績値 （28年3月31日時点）	自主防災リーダー養成講座受講者数 2,335人（平成27年度）			
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	達成				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：福知山市

<p>本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果</p> <p>※未達成の場合も効果を記載すること</p>	<p>各事業の実施により防災に対する市民意識が高まっており、各成果指標の目標数値は長期計画（H27年度）の数値を達成している。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。</p>	
<p>本プロジェクトに対する自己評価</p>	<p>関連事業との連携効果</p>	<p>防災関係については、様々な事業を絡めて防災対策・防災意識を高めていかなければならない。各地域のコミュニティ形成や、非常食の補充など、連携効果は十分にあったと考えられる。</p>
	<p>府と市町村等との連携に資する成果</p>	<p>防災は広域にわたって対策を行うべき事項である。近年ゲリラ豪雨などの多発により被害は局所的であるが甚大なものが多い。また府北部では、市域の一部も大飯原発のUPZ圏内に含まれており、府の全体的な計画のもと対策を立てる必要があるなど府との連携効果は非常に高いと考えられる。</p>
	<p>住民の自治意識を高める成果</p>	<p>消防庁舎改修事業のようなハード面の設備だけでなく、コミュニティFM放送防災情報提供事業のソフト面の事業からも住民の防災意識を高めることができたと考えられる。</p>
	<p>リーディング・モデル成果</p>	<p>総合防災センターが完成し、センターを活用した体験学習や、市民講座などは、周辺自治体よりも防災意識の高揚があり、地域の防災に寄与している。</p>
	<p>行財政改革に資する成果</p>	<p>防災に関しては、安易に費用対効果のみを求めることはできない。ソフト事業を増やすことで、限られた財源の中で十分に成果を出していると考えられる。</p>
	<p>その他の成果</p>	<p>平成26年8月豪雨災害において市街地の大半が冠水し甚大な被害を受けた。課題も多数あるが消防の適切な救助活動等一定の成果はあげられた。今後も防災意識の向上、防災体制の強化に努める。</p>

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：福知山市

プロジェクト名	NEXTふくちやま 次世代創造プロジェクト	実施期間	平成23年度～ 平成27年度	テーマ	少子高齢化	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本市は、人口が年々減少傾向にあり、また、少子高齢化、核家族化と世帯規模の縮小が加速的に進んでいる。このような中で、子育て支援のニーズも多様化しており、地域社会全体で子どもと子育てをいかに見守り、支援していくかが課題となっている。</p> <p>また、子どもたちを取り巻く環境も、いじめ、不登校、児童虐待、インターネット等の有害情報の氾濫など、様々な課題が輻輳し複雑化している。このような状況の中、時代に即応した教育の再生・充実と、安全で魅力ある学校づくりが重要となっている。</p> <p>これらの課題に対して、乳児から児童生徒に至るまでの健全な成長と教育を支えるための、市・学校・家庭・団体・地域等が連携・協働した取り組みが必要となっている。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>「子どもと心通わせ 喜びあふれるまち」を目標に掲げ、家庭、地域、事業者、行政などあらゆる立場の人が、子どもの目線から地域社会を顧み、子育てに参画、協働できる環境づくりに努め、若い人たちが子どもを産み育てることに楽しみや大きな価値を感じることができるまちづくりを進める。</p> <p>また、児童生徒の主体的・創造的に生き抜く力を高め、時代に即応した教育の再生・充実と、安全で魅力ある学校づくりに向け、学校設備等の拡充とともに、家庭・地域・学校等の連携・協働を進める。</p>						
	総事業費（千円）	799,000	本年度事業費（千円）	49,655	交付金額（千円）	24,900	
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	文武向上プラン学校支援事業	交付事業	市立学校が自校の課題に即して作成した文武向上プランの実施にかかる補助及び社会人コーチを派遣するための経費		1日30分以上勉強する割合 87.0%（H27年度）		
	小学校施設設備改修事業	交付事業	小学校のプール改修工事等小学校の環境改善を行う		改修実施計画に対する実施率100%（H27年度）		
	まなびのつながり強化推進事業	交付事業	就学前園児と小学校児童との交流事業など、教育環境をスムーズに移行するための交流事業に係る経費		校種間（保幼小）連携活動回数 77回（H27年度）		
	心の安定基地づくり推進事業	交付事業	不登校総合対策事業として、児童生徒が通う適応指導教室「けやき広場」の運営、教育相談室での相談対応による不登校児童生徒支援		不登校出現率が全国平均以下であった		
	放課後児童クラブ運営事業	交付事業	小学校における放課後事業クラブの運営の補助を行う		放課後児童クラブ利用児童数 1,251人（H27年度）		
	子どもに優しい芝生園庭整備事業	交付事業	園児が活動的に遊びまわれる保育環境をつくるために、園庭の芝生化を行う。		園庭芝生化面積223.75㎡（H27年度）		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：福知山市

成果指標①	成果指標の目標数値	児童生徒一人当たり読書数 60冊/年（平成27年度）		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	— (参考:H26年度児童生徒一人当たり読書数126冊/年)	
	成果指標の達成状況	—	(左の理由)	H27年度より、成果指標と比較可能な調査が行われていないため。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
成果指標②	成果指標の目標数値	放課後児童クラブ利用児童数 890人（平成27年度）		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	放課後児童クラブ利用児童数 1,251人（平成27年度）	
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	達成		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	各成果指標の実績値は長期計画（H27年度）の数値の数値を上回り、教育の充実が図られた。					
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。					
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	関連事業との組み合わせの相乗効果により、長期計画における成果指標をクリアできたと考えられる。				
	府と市町村等との連携に資する成果	教職員をサポートする本市独自の「スクールサポーター事業」については、府と市の連携により一定の成果が教育現場に出ていると考えられる。				
	住民の自治意識を高める成果	スクールサポーター事業や放課後児童クラブ運営事業などを介して、地域の住民がかかわりを持つ中で、自治意識の高まりがあると考えられる。				
	リーディング・モデル成果	教職員をサポートする本市独自のスクールサポーター配置事業によるスクールサポーター数は他市より多く設置しており、他市が参考にできる可能性は高い。				
	広域的波及成果	特になし。				
	行財政改革に資する成果	前年度とほぼ同じ予算で成果指標が上がっているため、効率的事務運営が進められたと考えられる。				
	その他の成果	特記事項なし。				

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：福知山市

プロジェクト名	3つの京都推進プロジェクト	実施期間	平成27年度～平成29年度	テーマ	その他（3つの京都）	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>地域創生の実現のためには、地域の魅力を最大限に引き出し、交流人口の拡大・産業の振興を図ることが必要である。特に、3つの京都に関しては以下の課題があり、これらの克服を図る。</p> <p>【海】観光資源は豊富であるにも関わらず、景観整備やコンテンツが不十分である。また、観光資源が点在しており、周遊するシステムが十分に整備されていないため、日帰り観光客が多く地域経済への波及効果も限定的である。</p> <p>【森】担い手不足や木材価格の低迷などにより集落機能の維持・管理が困難になっており、新たな視点で森資源を活用する必要がある。また、森林の公益的機能が低下することや森の文化の継承が困難であることについて懸念があり、野生鳥獣被害への対応も求められている。</p> <p>【お茶】文化や産業の衰退にもつながる、消費の減少や生産者の高齢化が進んでいる。地域全体としての発信力に欠け、相乗的な経済効果を生んでいない。また、宿泊施設が少なく日帰り観光が可能で、魅力的なコンテンツや回遊システムが十分に整備されていないため、一人当たりの観光消費額が低い。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>豊かな自然や長い歴史に磨かれた地域の資源や特性を活かし、市町村と府が連携して総合的かつ計画的に特色ある地域づくりを進める。産業・観光を振興することを目的とする。</p>						
	総事業費（千円）	65,700	本年度事業費（千円）	21,925	交付金額（千円）	10,938	
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績(出来高数値等)							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	福知山踊振興会35周年記念支援事業	交付事業	市の無形民俗文化財に指定されている「福知山音頭と踊り」を、歴史を記録として残し次世代につなぐ		入込人数(ドッコイセまつり)4,600人（H27年度）		
	福知山踊り振興事業	交付事業	市の無形民俗文化財に指定されている「福知山音頭と踊り」を、福知山踊りの講師を派遣することにより後世に伝える		受講者数1,466人（H27年度）		
	くの一武道大会開催事業	交付事業	福知山城を全国にPRすることを目的として、女性を対象とした忍術大会を開催する。		応募者数 96人（H27年度）		
	大江山グリーンロッジ改修事業	交付事業	グリーンロッジにネットワーク環境他を整備する費用		滞在者向けにWi-Fi利用環境が整った		
	北陵コミセン（食事用テーブル、畳更新など）	交付事業	老朽化した施設の修繕、改修を行い、集客を図る。		施設利用者数 (こぶし荘のみ) 8,060人（H27年度）		
	「森の京都」福知山PR事業	交付事業	「森の京都」の初年度としてPRやプロローグセレモニーを京都府とともに実施する。		3町集客数 336,379人（H27年度）		
	玄武岩公園活性化事業	交付事業	京都府指定文化財、京都府自然200景に選定される玄武岩公園の整備を行い、周辺観光施設の集客増を図る。		農匠の郷年間施設利用者数152,438人（H27年度）		
	鬼の交流博物館施設改修事業	交付事業	開館から22年が経過し、館施設の老朽化が進んでいる施設の聞き更新を行う。		入館者数7,931人（H27年度）		
住民 協働 事業	NHK大河ドラマ誘致推進事業	交付事業	NHK大河ドラマを誘致することにより、本市を明智光秀ゆかりの地として全国へ発信し、観光振興と地域経済の活性化を図る。		福知山城入館者数40,762人（H27年度）		
	夜久野高原花回廊（植栽事業）	交付事業	「道の駅農匠の郷やくの」を中心に「花回廊」を整備することで夜久野高原への入込客の増加と滞在時間の延長を促進し、地域振興に繋げる。		花回廊花木植栽400m（H27年度）		
	作業道等整備事業	交付事業	豪雨で被災した作業道の機能復旧作業を行い森林整備活動の早期再開を図る。		作業道等復旧延長6,190m（H27年度）		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：福知山市

成果指標 ①	成果指標の目標数値	三和荘、農匠の郷やくの、酒呑童子の里入込客数 平成26年度 343,094人 平成27年度 390,550人		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	三和荘、農匠の郷やくの、酒呑童子の里入込客数 平成27年度 336,379人	
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	平成26年度豪雨災害の影響により、宿泊者数が伸び悩んだため。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)		平成26年度豪雨災害の影響により、宿泊者数が伸び悩んだため。	(時期)	
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	平成26年度豪雨災害の影響により、宿泊者数が伸び悩んだものの、本市と近隣市町、府と連携し、北部一帯の産業、観光振興の増進を図ることができた。 ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。					
本プロジェクトに対する自己評価	府と市町村等との連携に資する成果	京都府及び関係6市町で費用を負担しあう形で協力して実施しており、効率的に実施できている。				
	リーディング・モデル成果	「森の京都」福知山PR事業では、本市の名産である丹波漆を活用した看板を作成することで、「森の京都 福知山」をPRするとともに、丹波漆のブランド力強化を図ることができたと考えられる。				
	その他の成果	イベントでの体験などを通じて多くの人を呼び込み地域の良さを知っていただくきっかけ作りを行うことができています。				

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。